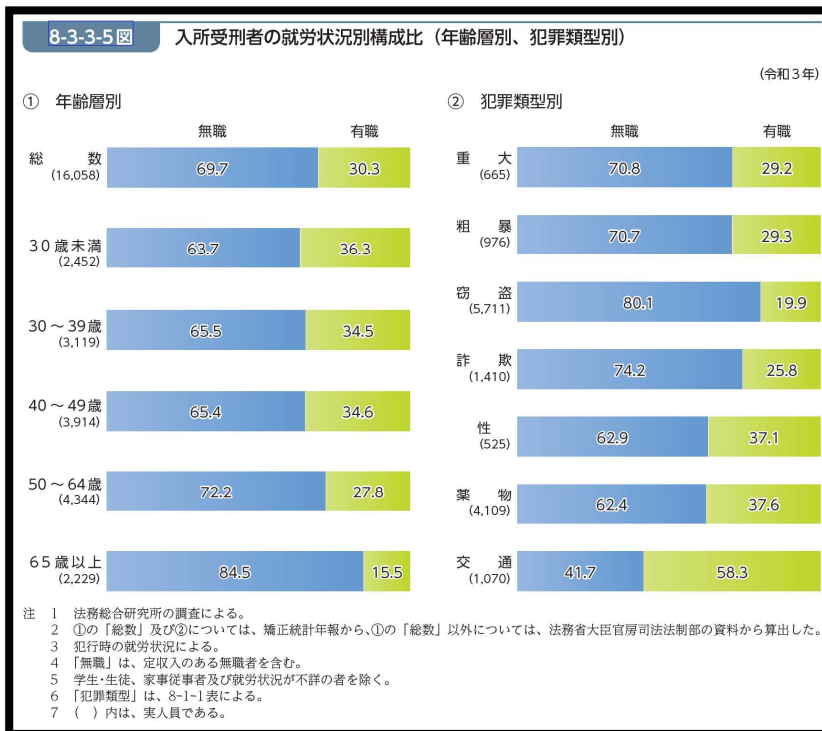
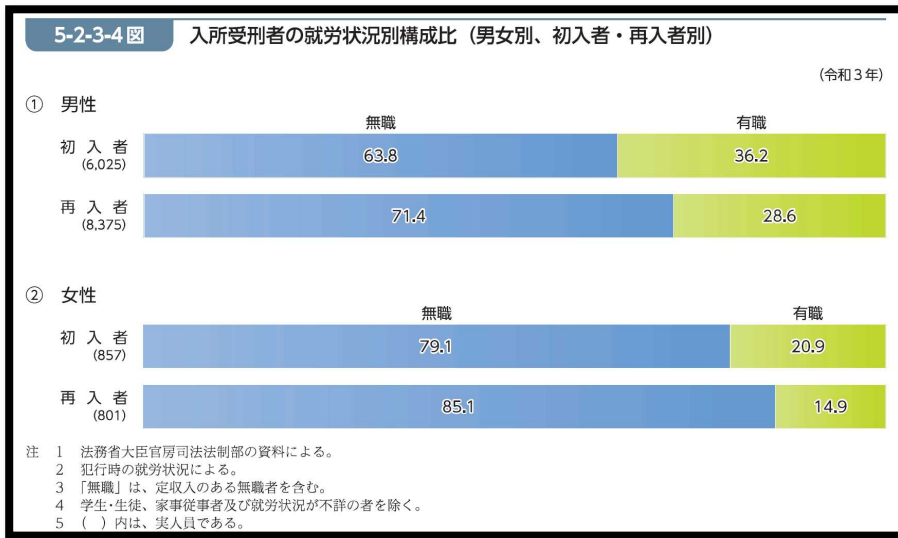


統計資料

2. 就労・住居の確保

○就労の有無について【令和4年度 犯罪白書】

(全国の入所受刑者の就労状況別構成比(令和3年度))



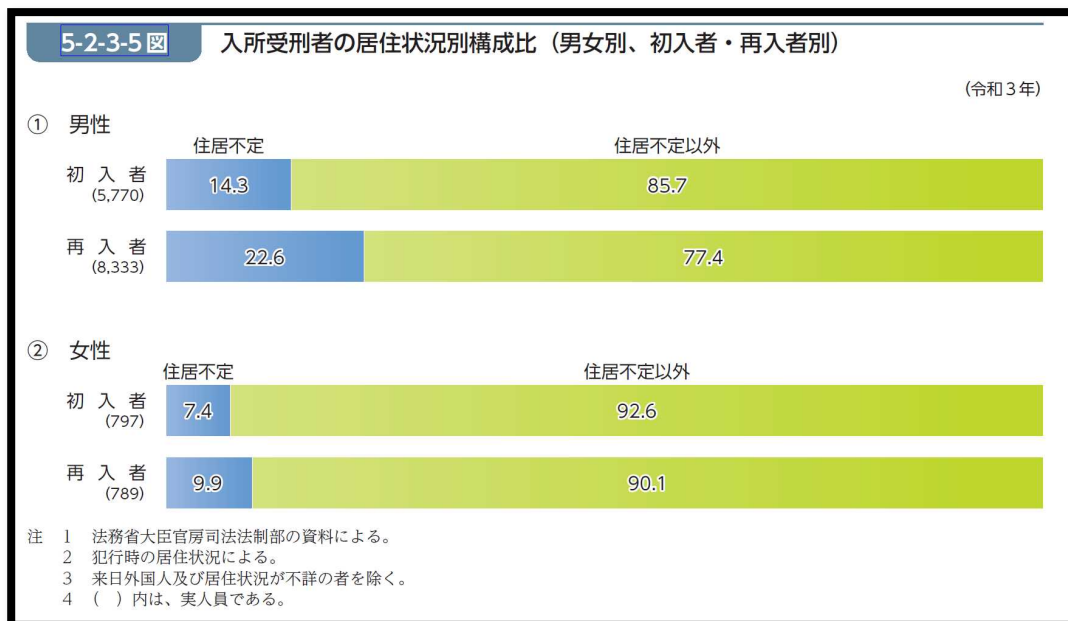
●初入所よりも再入所者における無職の割合の方が1割程度、無職の方が多い。

●犯罪類型別では窃盗および詐欺が他の犯罪に比べて無職の方が多い。

◎滋賀県の入所受刑者の就労状況別構成比(令和3年度)

	無職者	有職者
初入者	69.5%(18/41人)	30.5%(18/59人)
再入者	71.9%(46/64人)	28.1%(18/64人)

○住居の有無について【令和4年度 犯罪白書】
(全国の入所受刑者の居住状況別構成比)

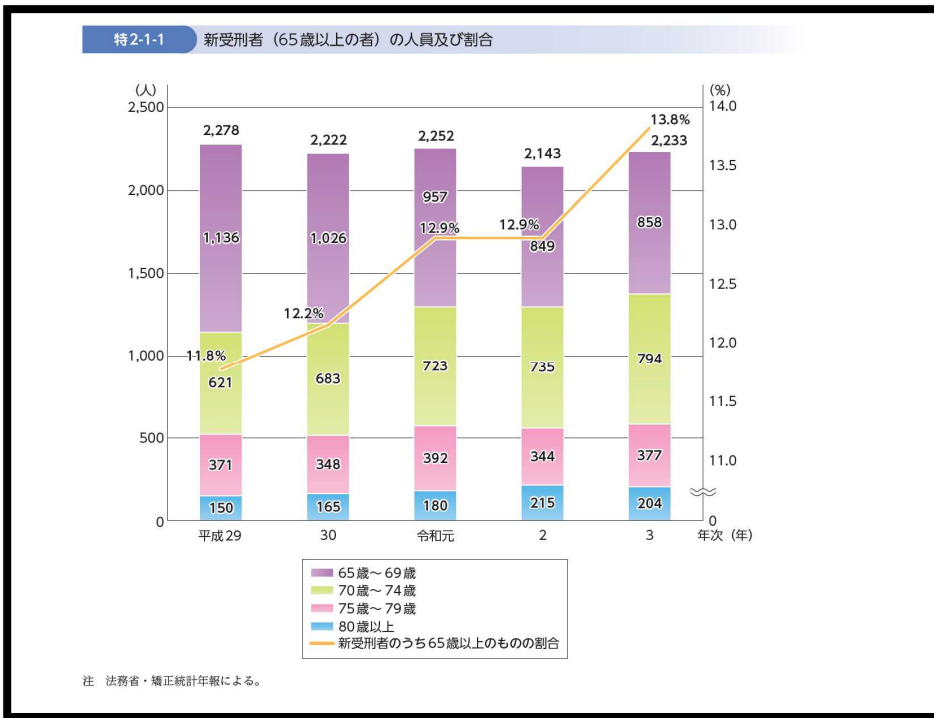


- 初入者よりも、再入者の方がやや住所不定者が多い。
- 女性に比べて男性の方が住所不定者である割合が高い。

3. 保健医療・福祉サービスの利用の促進

○高齢者について【令和4年度 再犯防止推進白書】

(全国の新受刑者(65歳以上の者)の人員および割合)



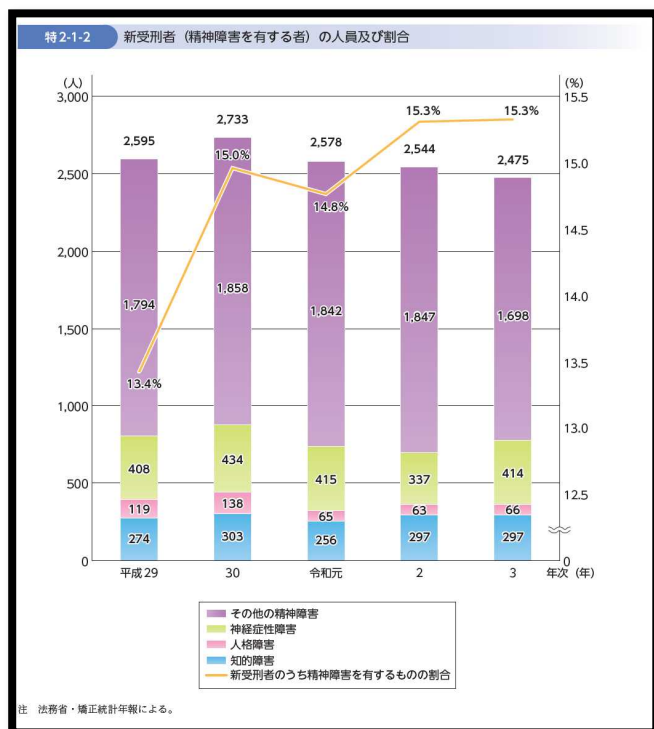
- 受刑者の数は横ばいであるが、全体に占める高齢者の割合は増加傾向にある。
- 高齢者の中でも70歳以上の新受刑者の数が増加傾向にある。

◎滋賀県の新受刑者(65歳以上の者)の人員および割合(R1～R3)

	R1	R2	R3
65歳以上	10.1%(7/69人)	21.8%(12/55人)	18.0%(11/61人)

○障害者について【令和4年度 再犯防止推進白書】

(全国の新受刑者(精神障害を有する者)の人員及び割合について)

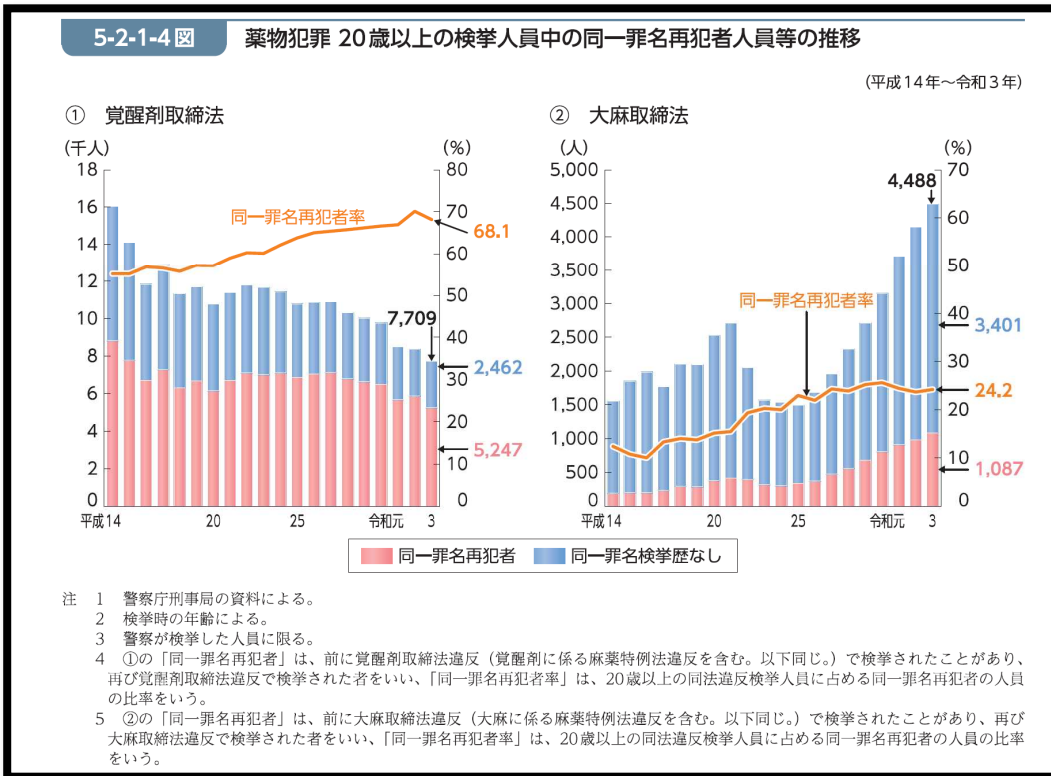


- 精神障害を有する者の割合は、増加傾向である。
- 65歳以上の者より、精神障害を有する者の割合の方が高い。

◎滋賀県の新受刑者(精神障害を有する者)の人員及び割合

	R1	R2	R3
知的障害	4.3%(3/69人)	5.5%(3/55人)	1.6%(1/61人)
人格障害	0%(0/69人)	0%(0/55人)	0%(0/61人)
神経症性障害	2.9%(2/69人)	3.6%(2/55人)	0%(0/61人)
その他の精神障害	21.7%(15/69人)	16.4%(9/55人)	14.8%(10/61人)
合計	29%(20/69人)	25.5%(14/55人)	18%(10/61人)

○薬物犯罪の傾向【令和4年度 再犯防止推進白書】



- 覚醒剤取締法における再犯者は減少傾向にあるものの、同一罪名再犯者率はやや増加傾向にある。
- 大麻取締法における再犯者の数は大きく増加傾向にある。また、同一罪名再犯者も増加傾向であるものの、同一罪名再犯者率の割合は、覚醒剤取締法に比較すると低い。

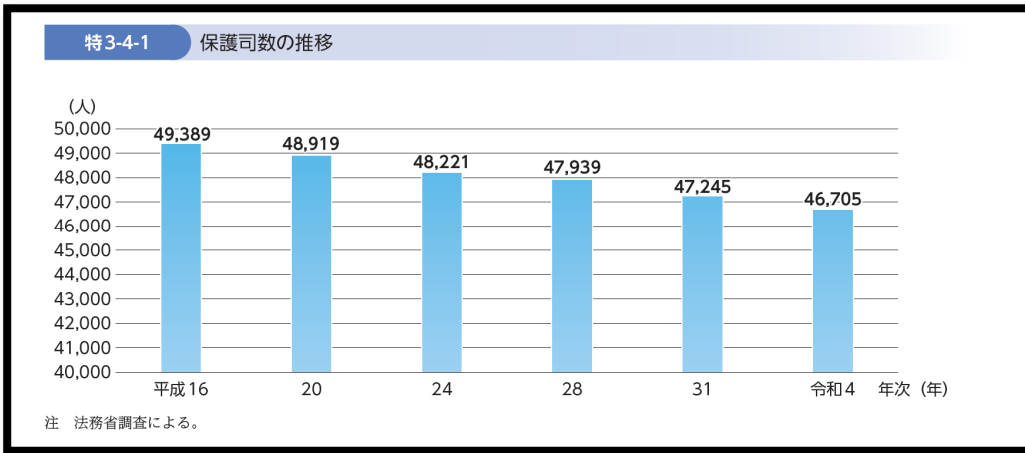
◎滋賀県の薬物犯罪の傾向

罪種別	検挙人員 (少年を除く)	初犯者・再犯者別					
		総数	初犯者		再犯者		
			うち)女性	うち)女性	うち)女性	うち)女性	
令和元年	覚醒剤取締法	50	6	9	1	41	5
	麻薬等取締法	1	0	0	0	1	0
	大麻取締法	36	4	20	3	16	1
令和2年	覚醒剤取締法	72	16	14	6	58	10
	麻薬等取締法	1	0	0	0	1	0
	大麻取締法	32	3	12	3	20	0
令和3年	覚醒剤取締法	48	14	7	2	41	12
	麻薬等取締法	6	1	5	1	1	0
	大麻取締法	30	2	12	1	18	1

5. 民間協力者の活動の推進、広報・啓発

○保護司数【令和4年度 再犯防止推進白書】

(全国の保護司数の推移)



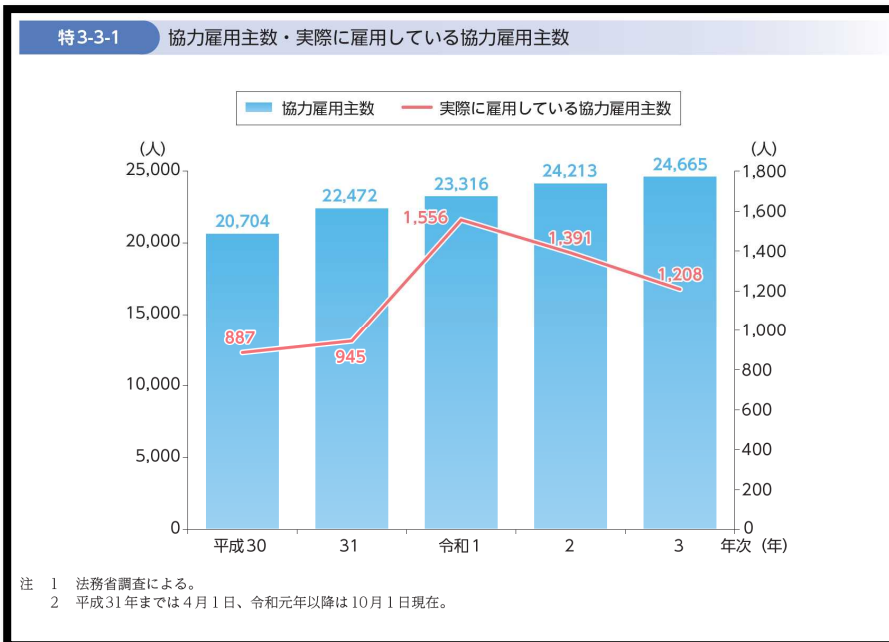
●年々保護司のなり手は減少傾向である。

(滋賀県の充足率)【法務省より提供】

	保護司定数	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全国	52,500 人	47,245 人(90.0%)	46,763 人(89.1%)	46,358 人(88.3%)	46,705 人(89.0%)
滋賀県	498 人	478人(96.0%)	489人(98.2%)	473人(95.0%)	484人(97.2%)

○協力雇用主数【令和4年度 再犯防止推進白書】

(全国の協力雇用主数と実際に雇用している協力雇用主数)



●協力雇用主は年々増加している。

●実際に雇用している協力雇用主数は約5%である